

# SS 探究 II C

## 住居セミナー

令和5年11月17日（金）に、九州産業大学 建築都市工学部 居住・インテリア学科の 吉村祐樹 先生を講師としてお招きし、2年生家政科を対象とした「住居セミナー」を開催しました。

セミナーは、講義と実習の流れで実施されました。講義では、色彩と住環境の関係について重点的に説明がありました。色と「温度感覚」、色と「立体感覚」、色と「硬軟感覚」、色と「軽重感覚」、特に色と「時間感覚」では、ファーストフード店内の壁紙の色の傾向から利用者の滞在時間の短縮化(利用者の効率的な入れ替わり)に繋がっていると分析されるとのことでした。また、住居の壁色やインテリアの配色を変えることで、室内の雰囲気が大きく変化することを、配色専用のソフト上の疑似体験で、確認しました。

実習は、配色カードを使って、同じ色相で高明度色と低明度色の2色の組合せ、隣接する補色の色相で同じトーンの2色配色などの組み合わせを選ぶ実習に取り組みました。実際に、配色カードをはさみで切り、のりで作業用紙に貼っていく作業を行いました。同じテーマであっても、各自が選んだ色の組合せが異なり、生徒達は色彩感覚の違いに興味を示していました。

配色をだけで、住居空間以外にも、料理や衣服など、人が感じる印象が大きく影響されることを知ることができました。今回の住居セミナーで学んだことを、来年度の課題研究に生かしてもらえればと思います。

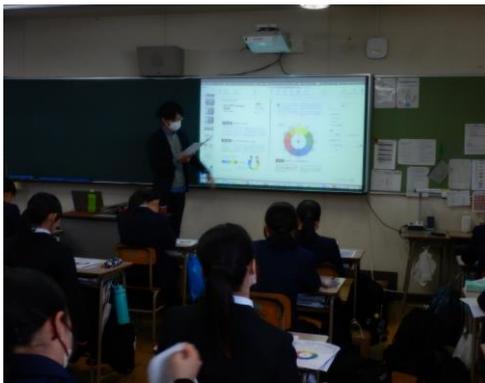


写真 左上：講義の様子  
左下：実習の様子

写真 右上：実習の様子  
右下：実習の様子